



渋谷
区政報告

— KOMEI SHIBUYA —

公明しぶや



2017年
春号

発行人：栗谷 順彦

渋谷区の平成29年度予算が決定しました。区民生活を守るため、子育て支援、教育の推進、福祉の拡充、健康・スポーツの推進、安全安心のまちづくりなど、公明党が予算要望などで提案した施策が、数多く盛り込まれました。その一部を紹介します。

公明党の主張が

平成29年度予算が成立!

予算に反映されました!

子育て 保育園の待機児童解消に全力

渋谷区議会公明党は国や都と連携し、保育園の待機児童解消に向け全力で取り組んできました。29年度は新設8園を含め809名の定員増。30年度は新設7園の開設を含めて600名規模の定員増。2カ年で1400名規模の定員拡大のため、保育施設を積極的に整備拡充します。

また、新たに認可外保育施設利用者に対し、月額4万円を上限として保育料を助成します。

さらに、待機児童を対象に、児童の居宅で1対1で保育する居宅訪問型保育事業を開始。(ベビーシッター派遣事業) 私立保育園における、保育士の処遇改善に対して「保育従事職員宿舍借り上げ支援事業」を実施し、人材確保を継続します。

29年度 **増** 新設8施設
809名
30年度 **増** 新設7施設
600名

2カ年で **増** 約1400名



福祉 SOSネットワーク事業の拡充

渋谷区議会公明党の提案で「認知症徘徊見守りキーホルダー事業」が28年度からスタート。



また29年度は従来の見守りサポート事業をさらに強化。メール配信を活用し認知症サポーターも加わり、地域全体で認知症

の方を早期発見できる体制を構築します。

これにより介護家族の不安軽減と高齢者見守り対応事業が一層強化されます。



子育て 渋谷区版ネウボラの本格始動

渋谷区議会公明党が提案・推進する「渋谷区版ネウボラ(仮称シブボラ)」が、神南分庁舎跡地を候補に本格始動します。子どもを持つすべての家族を包括的に支援する「母子健康包括支援センター」を整備することにより、行政の「子育て支援」の概念が変わります。



※ネウボラとは、子育て世代・包括ケアの事で妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援を提供するワンストップサービス(フィンランド発祥)

教育 ICT教育の推進!(全国初の取組み)

2年前の議会で提案したICT教育が実現しました。渋谷区立全小中学校の児童・生徒・教師にタブレット端末1人1台を貸与(全8600台)し、学習効率の向上をはかるとともに、家庭学習にも活用でき、全国初の取り組みになります。

また、SNSを中心にネットリテラシー教育(ネットに潜む危険を認識させる)も行われます。

さらに、公明党の推進で全校に配備された電子黒板も本年度全普通教室に設置されます。



安心 通学路に防犯カメラを大幅増設

渋谷区議会公明党の提案(28年9月)で、区立小学校18校の通学路に対し、1校あたり5台の防犯カメラを設置します。新規設置台数は86台、既設4台と合わせ、全90台が設置されます。



4台 **増** 90台



福祉 認知症相談協力医システムの構築

認知症が疑われる人への相談支援を強化し、医療介入支援を迅速に行うため、生活圏内に認知症相談協力医を配置します。



福祉 シニア健康体操(輝くダイヤモンド体操)

高齢者の介護予防を目的として、転倒予防・認知症予防等の動作を盛り込んだ体操を実施し、高齢者の継続的な社会参加を促進。



健康 胃内視鏡検査を新規導入



胃内視鏡検査による死亡率減少効果が認められ、50歳以上の偶数年齢者に対し、胃内視鏡検査を新規導入。

安心 帰宅困難者対策協議会設立



29年度に原宿駅周辺に、30年度に恵比寿駅周辺にそれぞれ協議会を設置し、駅周辺の混乱を防止します。

オリンピック・パラリンピック推進

レンタサイクルの拡充

東京 2020 オリンピックパラリンピック大会に向け、電車やバス路線を補完するコミュニティサイクル事業を開始します。具体的には、29年度は20ポート・200台を整備。近隣区(千代田区等、現段階では6区)への移動・乗り捨てなども可能とします。



公明党の提案 で区政が前進!

福祉 高齢者等施設整備

幡ヶ谷二丁目複合施設(認知症カフェ、地域包括支援センター、区営住宅など)を29年度中に、旧本町東小学校跡地の特別養護老人ホーム(特養100床、認知症グループホーム18人など)を30年5月に開設。さらに、渋谷区高齢者ケアセンターの建替え整備を実施。(33年度開設予定)



環境 空き家対策



29年度に区内全域の空き家実態調査を実施。30年度に対策計画策定・協議会設置、31年度相談体制(窓口)の整備。

区民ボランティアの育成 (渋谷区スポーツサポーター)

区内在住・在勤・在学の中学生以上の人および区内中学・高校の部活・大学サークル等団体を対象にパラリンピックの種目体験会や代表選手練習会の運営サポートなどを行い、ボランティア文化を根付かせることを目指します。

教育

- ギフテッド教育(特別な才能をのばす事を主眼として、個性に応じた指導を展開)を構築
- 特別支援教育の充実
- 特別支援学級を千駄ヶ谷エリアに新設(鳩森小へ30年度開級)、区内6校に整備

福祉

- 認知症グループホーム設置 恵比寿西2丁目複合施設(仮称)実施設計
- 障がい者福祉計画冊子~視覚障がい者向け音声コード対応
- 救急医療情報キットの配布

環境

- 公園に災害時のマンホールトイレを本町3丁目防災公園(仮称)に設置予定
- 鉄道ホームドア設置 (小田急線代々木上原駅)
- 玉川上水緑道(初台緑道)整備
- 分煙ルールの強化 ● 観光Wi-Fi環境整備の拡充

その他

- AED設置拡大 区内公共施設
- 食品ロス削減へ向け、フードドライブ活動の回収拠点拡充
- 町会等の地域コミュニティをサポートする地域活性化のための条例を推進



何でもご相談ください!



近藤じゅん子



沢島ひでたか



松山かつゆき



くりや順彦



古川ときお



ひさなが薫

公明党控え室

渋谷区渋谷1-18-21 渋谷区役所第二庁舎2階

●Tel 03-3463-1036 ●Fax 03-5458-4962